

高知県高大連携教育実行委員会 閉会の挨拶 2019年2月14日

平成30年度の高知県高大連携教育実行委員会の閉会に当たり、一言ご挨拶いたします。

本委員会は高知県教育委員会と高知市教育委員会、それに高知大学の間で、高校と大学との相互理解をベースにし、高大接続を円滑にすることにより、双方の教育効果を高める目的をもちています。

平成17年から始まり、今回まで14年間にわたって継続して参りました。

その成果は、主に高等学校の「総合的な学習」の内容の充実やアクティブラーニングを含む教授法の改善などの面で現れてきているのではないかと考えます。

高大連携でまず思い浮かべるのが入試の多様化です。2021年度入試からは多面的評価による入試が実施されます。本学は、学力の三要素のどの能力をどの程度重視するかを明示し、一定の評価基準によって選抜することを詳細に検討し、追って公表いたします。

高大連携教育事業においての高知大学のメリットは、出前授業や交流授業を通して、大学でどのような研究を行っているか、このような面白い研究がありません、といった高校生諸君へ発信し、直接お伝えできることです。県内高校生が高知大学に興味関心を持ってもらう良い機会になります。高知大学を受験してもらうモチベーションに繋がるかも知れません。

高校から見たメリットはどのようなものでしょうか？高知大学がこれからも高校における「総合的な学習」や「地域での学習」のメニューの充実に役立っているよう努力いたしますので、高校からの色々な要望やご意見をお寄せいただければと思います。

本日は本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。